

福岡市総合図書館映像ホール
Fukuoka City Public Library Movie Hall

シネラ

Ciné-là

シネラ・ニュース
October 2001 No.63

特集

モンゴル映画特集



イラスト:花野孝史

特集

伊藤大輔 監督特集

特別企画

第9回福岡映像コンテスト

特別企画

Dream Heart Festa 2001

ドリームスタイル

10

特集

戦前の日本映画の伝説の名匠であり、時代劇の巨匠・伊藤大輔監督の特集。

伊藤大輔監督特集

会 期：3日(水)～12日(金)
※休館日・休映日を除く
観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制
※チケットはすべて当日券です。前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

伊藤大輔

戦前、戦後を通じて時代劇映画の巨匠といえ、この伊藤大輔をまず筆頭にあげねばならないだろう。日本サイレント映画の完成期といわれる1925年頃から、大河内傳次郎主演の時代劇を中心に名作、傑作を次々に発表し、瞬く間に彼は第一級の時代劇監督としての地位を固めている。特に1927年の「忠次旅日記」三部作は日本映画史上の最高傑作の一つといわれ、鼠小僧次郎吉を主人公とする「御誂次郎吉格子(おあつらえじろきちこうし)」などのサイレント時代劇の傑作を次々と発表した。また1933年、彼のトーキー第一作となる「丹下左膳」も好評を持って迎えられている。しかしその後、作品を巡り当時所属した日活上層部と対立して退社、トーキー過渡期に現れた新会社の集合離散の中に身を投じることになる。そのため、トーキー初期には環境的にも恵まれず、作品もあまり評価を得られない時期が続いた。結局、臨戦体制下の映画会社再編で誕生した大映の「鞍馬天狗」によって復活の兆しを見せるが、本格的な復活は戦後に脚本・演出した現代劇「王将」まで待たなければならなかった。その後は時代劇を中心に1970年まで監督を続け、「反逆児」などの名作を生み出した。晩年は舞台の脚本、演出に力を注ぎ、1981年死去した。

特別講演「伊藤大輔監督、人と作品」

山村謙一

(映画評論家)

7日(日)14:00～14:50

※開場は開演の30分前。入場は有料制で、当日の「素浪人罷通る」の観覧料に含まれます。

やまむら けんいち

1921年生まれ。44年京都帝国大学法学部卒業後、「映画芸術」編集部勤務。52年～73年まで東映映画株式会社で宣伝業務を担当。その後フリーの映画評論家として活躍し、アジアフォーカス・福岡映画祭企画委員長を務める。伊藤大輔監督とは生前親交を持ち、今でも墓参り等でしばしば京都を訪れている。著書に「ヨーロッパ・映画の旅」(悠飛社)がある。



3水
19:00
11木
14:00

御誂次郎吉格子



追っ手を逃れ、江戸から上方へ向かう鼠小僧治郎吉と、旅先で出会った二人の女との恋愛物語。無声時代の伊藤大輔作品の現存する数少ない作品の一つであり、当時、絶大な人気を誇った伊藤大輔監督、大河内傳次郎主演の代表作の一つ。

監督・脚本：伊藤大輔
出演：大河内傳次郎／伏見直江

1931年／16ミリ／モノクロ／サイレント／60分／日活

7日
15:00
12金
19:00

素浪人罷通る



將軍吉宗の御落胤を名乗る天一坊が、一目父に会いたいと江戸へ向かっていた。その心根に打たれた浪人・山内伊賀亮は天一坊と行動を共にする。ほとんど自分の脚本を使ってきた伊藤があえて、脚本に八尋不二を起用し、自身の復活をかけた戦後第一作。

監督：伊藤大輔
脚本：八尋不二
出演：阪東妻三郎

1947年／16ミリ／モノクロ／80分／大映

3水
14:00
6土
11:00

王将



明治末の大阪、貧家の生まれで無学の坂田三吉は、ある日、出場した東京棋士関西素人将棋大会で勝ち進み、ついに関根七段と対戦するが、千日手のルールを知らないために負けてしまう。戦後の伊藤大輔の代表作であり、日本映画史に残る名作。

監督・脚本：伊藤大輔
出演：阪東妻三郎

1948年／35ミリ／モノクロ／93分／大映

4木
19:00
8月祝
15:00

大江戸五人男



冷遇されている不満から乱暴狼藉を働く直参・旗本の白柄組、幡随院長兵衛は彼らが水木あやめ一座の芝居小屋に乱入したのを体を張って止めに入る。松竹三〇周年を記念して製作された歌舞伎、新劇、少女歌劇団のオールスター総出演の豪華時代劇。

監督：伊藤大輔
出演：阪東妻三郎／市川右太衛門
月形龍之介

1951年／35ミリ／モノクロ／133分／松竹

5金
14:00
7日
11:00
10水
19:00

下郎の首



徳川末期、結城新太郎は父の仇を求め、下郎の納平と共に旅を続けていた。ある日、ひょんなことから納平はその仇・須藤厳雪を討ってしまう。須藤家では息子、静馬をたて納平を父の仇と探し始める。無声時代の伊藤大輔、初期の代表作「下郎」のリメイク版。

監督・脚本：伊藤大輔
出演：田崎潤／高田稔
嵯峨三智子

1955年／16ミリ／モノクロ／98分／新東宝

4木
14:00
6土
15:00
11木
19:00

切られ与三郎



芝居で有名な「切られ与三郎」の映画化。蜷岡問屋の養子、与三郎は後から生まれた実子のお金と与之助に義理立てて家を飛び出し、放蕩三昧の日々を送っていた。伊藤大輔一流の軽妙なテンポとユーモアに、宮川一夫のカメラも美しい佳作である。

監督・脚本：伊藤大輔
出演：市川雷蔵／淡路恵子
富士真奈美

1960年／35ミリ／カラー／94分／大映

5金
19:00
8月祝
11:00
12金
14:00

反逆児



戦国時代、今川義元を破った織田と武田に挟まれた徳川家は、織田につく。家康の子、信康は信長の娘婿となり、武田の軍を打ち破って戦功をあげるが…。悲運の武将、信康の半生を描いた伊藤大輔、晩年の最高傑作。

監督・脚本：伊藤大輔
出演：中村錦之助／桜町弘子
佐野周二

1961年／35ミリ／カラー／110分／東映

17日(水)14:00/20日(土)11:00

モンゴルの息子

Son of Mongolia



監督: I. トラウベルク
出演: Th. ツェウエン

本作はモンゴル最初の長編劇映画である。当時モンゴルはソビエトの影響下であり、本作はソ連資本、ソ連人監督により製作されている。主人公は気のよいモンゴル人青年ツェウエンで、彼は恋敵の中国人に騙され、内モンゴルに旅に出る。ところが内モンゴルで日本軍の侵略の意図を知ったツェウエンは、急ぎウランバートルに戻るのだった。

日本語・英語字幕付き
1936年/35ミリ/モノクロ/89分

18日(木)14:00/24日(水)19:00

至福の禍

An Unfortunate Fortune



監督: N. ニヤムダワー
出演: E. モンフェルデニ

モンゴルでは活仏を探す旅が行われるが、これは自分が活仏だと思ふ少年と母親の物語である。しかし活仏探しの一行は少年に気づかずに通り過ぎ、そのため少年はおかしくなってしまう。絶望した母親は心中する決心をする。ゴビの草原を舞台にした悲劇だが、純粋な美しさが胸に迫る作品である。

日本語・英語字幕付き
1991年/35ミリ/カラー/67分

19日(金)14:00/25日(木)19:00

さまよう雄鹿

Running Antelope



監督: I. ニヤムダワー
N. ニヤムダワー
出演: ブルドルジ

草原で暮らす遊牧民のダンバには妻のデジドと幼い子供がいた。しかしダンバには愛人がおり、それを知ったデジドはダンバを激しく責める。やむなく愛人の家に泊まるダンバだが、彼女が妊娠したことを告げられる。大平原を舞台とした三角関係の夫婦のメロドラマである。

日本語・英語字幕付き
1993年/35ミリ/カラー/69分

17日(水)19:00/24日(水)14:00

牙



監督: B. パートル
出演: D. デンスマー

ドルジツは子供がほしいが、子供が産まれてもすぐ死んでしまう。セデット坊さんの占いによりやっとな生まれた息子のモノノホイは、優秀な成績で外交官養成学校に入るのだが、殺人を犯して死刑に処せられる。モンゴルの宗教的な迷信や信仰が色濃く反映する作品で、やや難解だが、モンゴル色の強い作品といえる。

The Fang

日本語・英語字幕付き
1991年/35ミリ/モノクロ/90分

18日(木)19:00/25日(木)14:00

風雲の聖者

A Saint in a Turbulent Age



監督: Ts. ツェレンドルジ
L. シャラブドルジ
出演: T. エルデニオチル

17世紀のモンゴル。モンゴルはいくつかの国に分裂しており、統一を失っていた。この時期活仏となったザナバザルは、宗教の力でモンゴルを精神的に統一しようとした人物であり、同時に偉大な芸術家でもあった。本作はザナバザルの苦難の生涯を描いた歴史大作である。

日本語・英語字幕付き
1992年/35ミリ/カラー/134分

19日(金)19:00/21日(日)11:00

ゴビの聖者

Ferocious Saint Lord of Gobi



監督: I. ニヤムダワー
出演: D. ソソルバラム

19世紀、モンゴルに実在した活仏アラブジャー・ホトクトの生涯を描いた作品。チベット仏教紅帽派の指導者として、また芸術家として彼がモンゴル文化に与えた影響は計り知れない。映画の中に彼の作った詩や音楽が挿入され、広大なモンゴルの大地に引き込まれるような作品である。

日本語・英語字幕付き
1998年/35ミリ/カラー/106分

戦前のモンゴル映画の傑作「愛のさだめ」を含む90年代モンゴル映画の傑作「モンゴルの息子」と、最新の傑作「新文字先生」

モンゴル映画特集

特集

会期: 17日(水)~26日(金)

※休館日・休映日を除く

観覧料: 500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券です。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料、福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の呈示が必要です。)

90年代以降のモンゴル映画

今回の「モンゴル映画特集」は90年代初頭の民主化以降の作品を中心に上映。80年代までのモンゴルは社会主義国として、映画製作も国家の統制下に置かれていた。「モンゴルの息子」は、ソ連により製作されたモンゴル初の長編劇映画であり、歴史的な意味合いで特集に含めた。

90年代以降の民主化により、市場経済が導入され、モンゴル映画は大きく様変わりする。政府のイデオロギーやプロパガンダが影をひそめ、伝統的な価値観、宗教観が前面に登場するようになる。また映画製作により商業的な成功を目指す会社が多数登場し、製作本数が増大する。

しかし90年代後半になってからは、一時的なブームが去ることにより、映画製作は困難な状況に陥る。しかし近年発表された「新文字先生」や「愛のさだめ」等はまぎれもない傑作であり、モンゴル映画が新しい時代に入ったことを示している。「新文字先生」のバダルオーガン監督が昨年急逝されたことが残念でならないが、製作本数は少なくとも、モンゴル映画はモンゴルの魅力を描きつつ、高いレベルの映画製作に向かっていることが理解できるだろう。

20日(土)15:00/26日(金)14:00

新文字先生

The Teacher of Cyrillic Alphabet



監督: B. バダルオーガン
出演: B. ガルディ

50年代のモンゴル。夏休みで町の学校から故郷の村に戻ってきたトルガーは、村長から村の字が読めない村人のためにキリル文字を教えるように頼まれる。自分の母親も含めて子供からお年寄りまで、なかなか言うことを聞かない生徒達を相手に、トルガーは一生懸命授業を行う。新しいモンゴル映画の傑作である。

日本語・英語字幕付き
1999年/ビデオ/カラー/109分

21日(日)15:00/26日(金)19:00

愛のさだめ

Alagnii Hee



監督: J. ピンデル
出演: Ts. トウムルパートル

遊牧民のチョローンには出産を控えた妻のヤンジンと二人の子供がいた。赤ん坊は無事に生まれたのだが、妻は精神に異常をきたしてしまう。都会の医師に診てもらうため、チョローンは妻と子供、そして数十頭の羊をつれて旅に出る。チョローンの妻や子供達への優しさと思いが溢れる作品である。

日本語・英語字幕付き
2000年/35ミリ/モノクロ/78分

特別企画

福岡市民芸術祭協賛

第9回 福岡映像コンテスト

会期: 14日(日)

表彰式(10:00~)・発表上映会(13:00~)

主催: 福岡映像協会

Tel.092-581-9619

観覧料: 無料

共催: 福岡市総合図書館

福岡市内に限らず

県内各地から応募されてくる

アマチュアによるビデオ作品の

コンテストである

「福岡映像コンテスト」。

優秀作品には

「福岡市長賞」

「福岡市総合図書館賞」等の

賞が送られます。

ドリームハートフェスタ2001

ドリームスタイル

福岡市民のコミュニティづくりの円滑な推進と、市民が手軽に芸術文化に親しむ場として、市民づくりイベントである、特別企画「ドリームハートフェスタ2001」ドリームスタイルを開催。

この文化イベントは、NPO法人の「元気種つと(げんきだネット)」が、毎年秋にシーサイドももち地区で開催していた「家族や友人・地域の絆」を深め合いながら、教育・福祉問題に積極的に取り組んでいる地域密着型文化イベントを見つめ直し、市民のコミュニティづくりと日常的な文化活動の発表の場を創出し、シーサイドももち地区のまちづくりと、市民相互のコミュニティづくりに寄与しようとする特別行事です。



© Imamori Mitsuhiro

第一部(13:30~14:50)

入場無料

地域住民による作品展示

市民文化活動発表会(舞踊、ステージ演奏等)

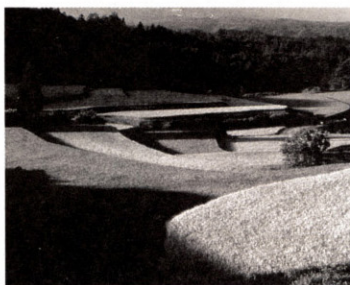
第二部(15:10~17:00)

有料

「今森光彦の里山物語」& シンポジウム

上映作品:「今森光彦の里山物語」

デジタルハイビジョンビデオ作品/50分



© Imamori Mitsuhiro

第三部(17:10~19:00)

入場無料

「蒙古襲来と博多」スライド&トーク

上映作品:「蒙古襲来と博多」

35ミリスライド作品/60分

開催日: 10月13日(土) 13:30~19:00

場 所: 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

観覧料: 第一部及び第三部は無料、

第二部のみ有料(一人1,000円)

主 催: NPO(特定非営利活動)法人「元気種つと」

共 催: 福岡市総合図書館、百道浜校区自治連合会、百道浜公民館

主 幹: NPO(特定非営利活動)法人「かせやなぎ」、VOW OFFICE co.,ltd.

後 援: シーサイドももち関係施設協議会

お知らせ

シネラNEWS送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成13年11月号~平成14年3月号までの郵便切手(90円×5ヵ月)を同封の上、下記宛先へお申し込みください。宛先:〒814-0001福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館 映像資料課

ビデオ編集技術研修室再開のご案内

編集機材入れ替えのため閉鎖しておりましたビデオ編集技術研修室を、10月2日(火)から再開します。VHS、Hi8に加えてデジタルビデオの編集にも対応できるようになります。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄)

※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

次号予告

※変更の場合もあります。あらかじめご了承ください。

11月1日(木)~4日(日)

出光真子作品展

家族、社会と女性との関係を描き、映像制作を通して女性の自立を訴え、国際的にも評価される出光真子の回顧展。

11月7日(水)~18日(日)

台湾映画祭

80年代の台湾ニューウェーブから90年代までの台湾映画の傑作特集。「光陰的故事」「さよなら再見」「恐怖分子」「非情城市」他6作品。

11月22日(木)~25日(日)

ぴあフィルムフェスティバル in 福岡

自主製作映画の日本最大のコンペティションである「ぴあフィルムフェスティバル」からコンペティション入選作品及び近年の話題作を上映。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

デザインワークス/VOW OFFICE co.,ltd.

10月

上映スケジュール

1月	休館日
2火	休映日
3水	14:00 伊王将 19:00 御誂次郎吉格子
4木	14:00 藤切られ与三郎 19:00 大江戸五人男
5金	14:00 大下郎の首 19:00 反逆児
6土	11:00 王将 15:00 切られ与三郎
7日	11:00 輔下郎の首 14:00 講演会 素浪人罷通る
8月祝	11:00 監反逆児 15:00 大江戸五人男
9火	休館日
10水	14:00 特 大江戸五人男 19:00 下郎の首
11木	14:00 集 御誂次郎吉格子 19:00 切られ与三郎
12金	14:00 反逆児 19:00 素浪人罷通る
13土	「ドリームハートフェスタ2001」ドリームスタイル
14日	第9回福岡映像コンテスト
15月	休館日
16火	休映日
17水	14:00 モンゴルの息子 19:00 牙
18木	14:00 至福の禍 19:00 風雲の聖者
19金	14:00 ゴ さまよう雄鹿 19:00 ゴビの聖者
20土	11:00 モンゴルの息子 15:00 新文字先生
21日	11:00 ル ゴビの聖者 15:00 愛のさだめ
22月	休館日
23火	休映日
24水	14:00 特 牙 19:00 至福の禍
25木	14:00 風雲の聖者 19:00 さまよう雄鹿
26金	14:00 集 新文字先生 19:00 愛のさだめ
27土	福岡・オーストリア・ウィーン倶楽部10周年記念事業
28日	休映日
29月	休館日
30火	休映日
31水	月末休館日



交通アクセス: 当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス: 天神~都市高速経由~福岡タワー南口

(所要時間 昼間で約20分)

博多駅~都市高速経由~福岡タワー南口

(所要時間 昼間で約25分)

福岡タワー南口バス停から徒歩3分

いずれも、昼間は10~15分間隔で運行されていますので大変便利です。

お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

編集雑誌

秋晴れの中、スカッと時代劇といきましょう。お待たせいたしました、伊藤大輔監督の特集です。演出のしただけでなく、大河内傳次郎、阪東妻三郎など往年のスターの殺陣のキレもお見逃し無く。また、監督と親交のあった映画評論家山村謙一氏の特別講演をお楽しみに。(H.M)

280 古紙リサイクル率80%再生紙を使用しています。